

体系的な技術的アドバイスの仕組みの構築

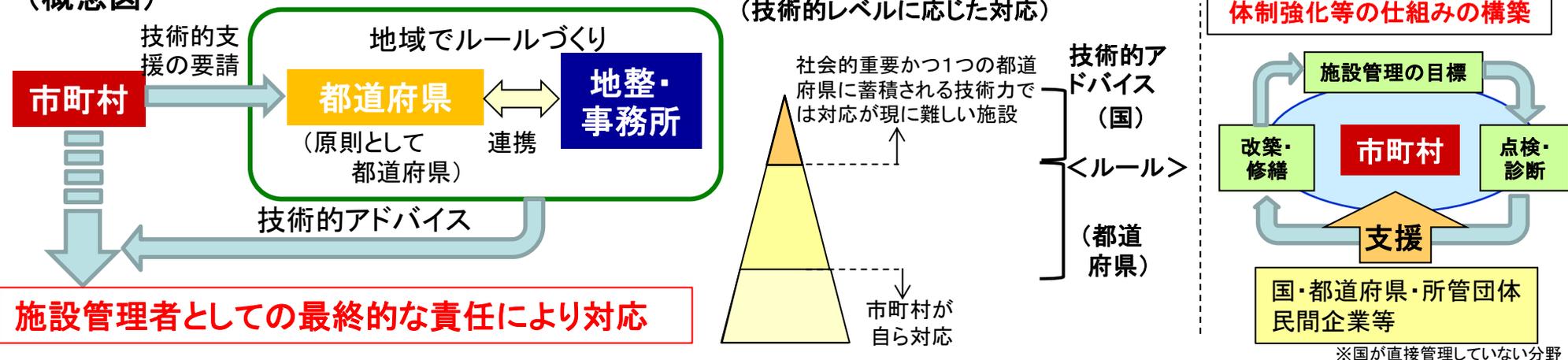
背景と考え方

- メンテナンスサイクルの取組が進み、施設の老朽化も急激に進行する中で、市町村では技術的に対応が困難な維持管理が顕在化し、増加すると見込まれる。
- 技術的能力の違う主体が、それぞれの役割のもと、体系的に技術的アドバイスする仕組みが必要。

今後の取組

- 社会的に重要かつ一の都道府県に蓄積される技術力では現に対応が困難なものについては 国等が対応すべきであり、それ以外は都道府県で対応すべき。
- 市町村に対する技術的アドバイスについて、都道府県等が対応する手順等のルール化を図るべき。
- 都道府県や所管団体、民間企業等の活用を含め、体制強化等の仕組みを構築すべき。(国が直接管理していない分野)
- 高度な技術について適切な技術的アドバイス等を行うため、技術的支援を行う専門組織を構築すべき。

(概念図)



市町村

技術的支援の要請増大

通常業務を対応しながらの実施が困難

技術的支援の専門組織の構築

技術的高度なものについて技術的アドバイス実施